

# 食農融和 シンポジウム

平成21年度担い手総合支援事業 経営多角化・高度化支援活動

食べものとなる動植物が育つためには、一定の時間と空間も必要であり、また農業者がいくら努力しても、工業製品のように100%均質な規格品ができるわけではありません。現代の食生活では、「自然の摂理」のなかにある食の根源的なあり方さえ、忘れられ始めているのではないのでしょうか。

ついては、このような食と農のかい離を食い止め、食のあり方を改めて問い直すことを目的としたシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、女性の目線からの農業経営と取り組み事例の紹介やパネルディスカッションを行い、食育・食農活動への思いや農業法人への期待等を紹介します。

## プログラム

13:30

5

15:00

開 会

テーマ：「女性から見た食と農のつなぎ方」

[討議のポイント]

- 自己紹介・取り組み紹介
- 売りたい価格、買いたい価格
- 農と食をつなぐには

閉 会

ご来場の皆様にお願ひ

皆様のご意見・ご質問などを頂きながらシンポジウムを進めて参ります。  
明日の日本農業に対する日頃の思いをぜひご披露ください。

平成22年2月2日(火) 13:30~15:00

東京ビッグサイト東展示棟 第7回グルメ & ダイニングスタイルショー春 2010 キッチンステージ

主催：(社)日本農業法人協会 全国担い手育成総合支援協議会、(株)ビジネスガイド社

## 青木 理紗

千葉県：麦わら農場

1980年東京都生まれ。桜蔭高校、東京大学卒。外資系コンサルティング会社にて3年勤務の間に大手企業の農場設立のプロジェクトに関わったことを契機に日本の農業の現状を認識し、農業に興味を持つ。上司と共にコンサルティング会社を設立後、2008年より千葉で農業を開始。現在、都心へ生産の情報を発信しながら小さなコミュニティの中で販売を実践する「麦わら農場」を立ち上げ中。

## 大嶋 美智子

茨城県：(株)大嶋農場

栃木県真岡市（旧二宮町）生まれ。昭和女子大学卒業。銀行勤務を経て農家の長男に嫁ぐ。子供3人・父・母の7人家族。2000年（有）大嶋農産設立（2009年株式会社大嶋農場に社名変更）、取締役就任。代表の母校である東京農業大学の学生を積極的に受け入れるなど農業体験希望者の受け入れ実践し、若き農業者の育成に力を注ぐ。都内でのイベント・販売促進活動にも積極的に参加。2008年より明日の茨城を考える女性フォーラム委員。（社）日本農業法人協会の環境食農部会委員、やまと凛々アグリネットに参加。

## 三森 かおり

山梨県：(有)ぶどうばたけ

1965年山梨県山梨市 中山間地の専業農家の長女として生まれ、保育士を経て結婚を機会に農業を始める。2005年（有）ぶどうばたけを設立、取締役就任。敷地内に残る手絞りのブロックワインを活用するなど、「伝統の伝承」をかける。農業を活性化し、健全な産業として後世に繋げる橋渡しをしたいと考え、日頃の農作業では極力自然な方法に努める。また、農業者の自己意識を高め、生産者と生活者の距離を縮める食育・農作業体験を積極的に進め、直売店で、農産物だけでなく、土・風土・人と交わる農育を目指す。山梨県家庭婦人バレーボール協会理事（3期）、山梨市スポーツ振興審議会委員を歴任。現在、山梨県長期計画審議会委員、山梨県指導農業士、（社）日本農業法人協会の環境食農部会委員、やまと凛々アグリネットに参加。

## 藤井 浩太郎

岡山県：芳井殖産(株)

1961年岡山県生まれ。興譲館高等学校、京都学園大学卒。横浜で不動産販売、大阪でファミレス、岡山でおもちゃ、雑貨などを経験し、1994年家業を継ぐ。1995年芳井殖産株式会社設立。1980年設立の（農）芳井ポトリ（農場は法人として認定農業者）をゲージ飼育から平飼いに切替え、現在約一万羽飼育。岡山から関西方面を中心に平飼い卵、平飼い卵の加工品を出荷。2007年より岡山県農業法人協会会長・（社）日本農業法人協会理事。



事務局：(社)日本農業法人協会 政策課

〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8 中央労働基準協会ビル 1F

TEL：03-6268-9500 FAX：03-3237-6811 HP <http://www.hojin.or.jp>